

日本医史学雑誌 第65巻 総目次

原 著

- 明治期の大阪における産婆制度の変遷…………… 阿部奈緒美 3
- 華岡青洲の「青洲医談」に関する研究
 ——諸写本の書誌, 成立, 内容, 異名同書についての考察——…………… 松木 明知 19
- 村井椿寿(琴山)と吉益東洞…………… 松崎 範子 43
- 1887-90年『順天堂医事研究会報告』における集团的技術評価と医療情報の普及・共有
 ——ユカイン局所麻酔を事例として——…………… 月澤美代子 67
- 華岡青洲の「瘍科瑣言」の成立と写本の系統に関する研究…………… 松木 明知 279
- 従来開業女医についての一考察…………… 三崎 裕子 301
- 英国における陸軍看護制度と第二次世界大戦における実際
 ——戦争と看護の歴史をみる視点に焦点をあてて——…………… 川原由佳里 314
- 東南アジアにおける英国看護婦の経験
 ——ビルマ戦での看護に焦点を当てて——…………… 川原由佳里 407
- 民間からの戦後医療改革
 ——聖路加国際病院と橋本寛敏に注目して——…………… 藤本 大士 426
- 華岡青洲の撰による「青囊秘録」の書誌学的研究
 ——とくに初期の写本と全身麻酔薬を中心として——…………… 松木 明知 440

研究ノート

- 華岡青洲の乳癌手術における再発例についての考察…………… 松木 明知 85
- 鎖鼻, 鎖陰, 鎖肛, 鎖宮の語史
 ——とくに初出文献と初出年について——…………… 松木 明知 329
- 有馬玄哲に始まる医家有馬家の系譜について…………… 今井 秀 458
- 曹洞禅: 道元の健康観…………… 戸部 賢, 齋藤 繁 482

ひろば

- 家族マンガ・サザエさんからみる戦後から高度成長期の
 一般家庭の健康, 医療の課題…………… 大見 広規 341
- コペンハーゲンの医学博物館を訪れて…………… 安西なつめ 348

資 料

- 吉雄永純と合田大介の『紅毛外科聞書』の解題と翻刻…………… 板野 俊文 95
- 林洞海・つる晩年の手紙 神内家関連文書より…………… 須永 忠, 神内 國榮 109
- 池田文書の研究 (60)…………… 池田文書研究会 127
- 池田文書の研究 (61)…………… 池田文書研究会 352
- 神内由己の生涯 神内家関連文書より…………… 須永 忠, 神内 國榮 362
- 池田文書の研究 (62)…………… 池田文書研究会 495

記 事

例会記録…………… 137, 381, 505

例会抄録

あの闘争とはなんだったのか——ぼくの場合——…………… 岡田 靖雄 137

医史学漫遊雑記

——平成28年度海上自衛隊遠洋練習航海随行録——…………… 柳川 鍊平 139

映画『夜明け前 呉秀三と無名 of 精神障害者の100年』

——特別試写会・解説——…………… 岡田 靖雄 381

明治期の開業医・狩野謙吾の生涯

——臓器療法の発見者から神経衰弱の専門家へ——…………… 山田真由美 382

緒方洪庵の薬箱研究を可能にした大阪大学所蔵ケシ標本の意義…………… 高橋 京子 384

鹿慢性消耗病 (Chronic Wasting Disease) ……………… 小野寺 節, 杉浦 勝明 385

メガロドンの歯の化石に対する本草学者と蘭学者の考察比較…………… 松山 知明 387

アメリカ国立公文書館資料再考2

——史料を活用したバイオエシックス教育の取り組み——…………… 丸山マサ美 389

『解体新書』扉絵の書誌的研究…………… 安江 明夫 390

日本における屍体解剖の黎明期について

——社会文化史的な視点からの再検討——…………… ヴォルフガング・ミヒェル 392

国民優生法, 優生保護法と精神科医…………… 岡田 靖雄 393

長谷川泰の再評価…………… 殿崎 正明, 山本 鼎 505

書 評

見城悌治著『留学生は近代日本で何を学んだのか

——医療・園芸・デザイン・師範——』…………… 渡部 幹夫 140

青木歳幸・大島明秀・W・ミヒェル編『天然痘との闘い——九州の種痘——』

…………… 鈴木 友和 142

津谷喜一郎・長澤道行著『医療にみる伝統と近代——生きている伝統医学——』

…………… 浦山 きか 144

グレゴワール・シャマユー (Grégoire Chamayou) 著, 加納由起子 訳

『人体実験の哲学』…………… 宮武 光吉 394

吉元昭治 著『図説 道教医学——東洋思想の淵源を学ぶ——』…………… 横手 裕 395

謝 心範 著『養生の智慧と気の思想——貝原益軒に至る未病の文化を読む——』

…………… 光平 有希 397

Wolfgang Michel-Zaitz 著 „Traditionelle Medizin in Japan

– Von der Frühzeit bis zur Gegenwart“ ……………… 梶谷 真司 398

坂井建雄著『図説 医学の歴史』…………… 松木 明知 507

坂井めぐみ著『「患者」の生成と変容

——日本における脊髄損傷医療の歴史的研究——』…………… 小林 晶 508

書籍紹介

大森弘喜著『フランス公衆衛生史——19世紀パリの疫病と住環境——』	渡部 幹夫	145
Florence Nightingale 著 “Notes on Nursing” (初版〈復刻版〉)	永島 剛	146
日本大学医学部同窓会編, 宮川美知子著 『醫の肖像——日本大学医学部コレクション——』.....	渡部 幹夫	146
森川 潤 著『青木周蔵——渡独前の修学歴——』.....	永島 剛	147
新村 拓著『売薬と受診の社会史 ——健康の自己管理社会を生きる——』.....	渡部 幹夫	509
投稿規定.....		149, 273, 400, 511
『中外医事新報』のウェブ公開に関するお知らせ		151
日本医史学会への寄付金について.....		402
編集後記.....		151, 275, 403, 513

第120回 日本医史学会総会・学術大会 演題目次

プログラム

理事長講演

医史学が解き明かしたこと, 物語ること	坂井 建雄	161
---------------------------	-------	-----

特別講演

I 川原病 (球脊髄性筋萎縮症)

——名古屋における記載, 病態, 治療の研究史——	高橋 昭	162
---------------------------------	------	-----

II 韓国医史学の歩みと展望	申 榮全	164
----------------------	------	-----

シンポジウム「医史学の新たな展望——健康長寿社会を拓いた先哲から学ぶ——」

趣旨説明	川畠 真人	165
------------	-------	-----

1 エドワード・ジェンナーの博物学とその師ジョン・ハンターの外科学	渡部 幹夫	167
--	-------	-----

2 華岡流の門人たちの痕跡から見た青洲の教え	土手健太郎	168
------------------------------	-------	-----

3 伊藤圭介の先見性と意志の強さ	山内 一信	169
------------------------	-------	-----

4 北里柴三郎を北里柴三郎たらしめているもの 研究, 人材, そして「私立」.....	都倉 武之	170
--	-------	-----

市民公開講座「移り行く疾病像とその社会医学的対応」

趣旨説明	青木 國雄	171
------------	-------	-----

1 肥満に関連する疾病の増加と対策	八谷 寛	172
-------------------------	------	-----

2 がん治療薬開発の歩みと将来展望	上田 龍三	173
-------------------------	-------	-----

3 がんリスク要因としての遺伝子に関して

- 分子疫学研究から考える—— …………… 松尾恵太郎 175

教育講演

- I 日本の病院史（通史）編纂から解ってきたこと …………… 福永 肇 176
 II ノーベル賞と名古屋大学——成果を生んだもの …………… 辻 篤子 178

特別展示

- 後藤新平 …………… 蒲生 英博, 直江千寿子, 山内 一信, 高橋 昭 179

一般演題

- 1 町医山科言経の開業背景：
 人間交流と諸ネットワークについて …………… アンドリュー・ゴープル 181
- 2 京都の外療道具師 真龍軒安則 …………… 岩原 良晴 182
- 3 股野玉川と南木龍江 …………… 西巻 明彦 183
- 4 歴史のなかの人 …………… 岡田 靖雄 184
- 5 華岡青洲の「紅毛外科集」と京都におけるオランダ流外科の修業
 …………… 松木 明知 185
- 6 華岡青洲の乳癌患者33名の術後生存期間を基にした
 手術成績の表し方の検討 …………… 金谷 貢, 金谷 桂子 186
- 7 種痘に用いられたウイルスは何か? …………… 加藤 茂孝 187
- 8 ポンペの『簡約薬物学提要』と司馬凌海の『七新薬』と『朋百氏薬論』
 …………… 相川 忠臣 188
- 9 『婚姻秘術抄』再考 …………… 永塚 憲治 189
- 10 『房事養生鑑』に描かれている女性生殖器について …… ヴィグル・マティアス 190
- 11 信濃国小諸白倉松軒信煥・加川隆礼兄弟の産科術（回生術）記録
 …………… 鈴木 則子 191
- 12 無資格者による自宅分娩から医療機関への移行：
 沖縄返還前後の出産環境の変化 …………… 中村 安秀 192
- 13 英国ロンドンにおける医学博物館の現状
 …………… 牧野 洋, 土手健太郎, 菊地 博達 193
- 14 郡上藩医学校の於東京医学修行生徒達 …………… 森永 正文 194
- 15 吉雄流外科1 瀉血篇 …………… 板野 俊文 195
- 16 熊本藩の医学教育と物産学 …………… 松崎 範子 196
- 17 瘀血吸圧法について …………… 清野 充典 197
- 18 戦前・戦中期女子歯科留学生の実態
 ——東洋女子歯科医学専門学校を事例として—— …………… 永藤 欣久 198
- 19 済生学舎の後身 日本医学校（現在の日本医科大学）校長 山根正次の再評価
 …………… 殿崎 正明, 山本 鼎 199
- 20 学用患者制度について …………… 脇之蘭真理 200
- 21 研医会図書館所蔵16世紀から19世紀の西洋医書および科学書 …… 安部 郁子 201

- 22 『コペンハーゲンの医学・哲学紀要』における収録論考の主題と傾向
 安西なつめ 202
- 23 17世紀の医学学習指南書
 ——Kestner『医学書誌』記載書籍の分析—— 澤井 直 203
- 24 『医方類聚』に引用された『傷寒論』は北宋小字版だった 真柳 誠 204
- 25 清医趙崧陽に関する記録について 郭 秀梅 205
- 26 『方極』関連医籍による奥田謙蔵の古方研究
 星野 卓之, 小田口 浩, 花輪 壽彦 206
- 27 伏気学説の文献回顧と分析 荘 明仁 207
- 28 経脈の三陰三陽説の成立過程——老官山医簡から—— 猪飼 祥夫 208
- 29 『経穴示蒙』に見える書き入れについて
 加畑 聡子, 星野 卓之, 小田口 浩, 花輪 壽彦 209
- 30 寿閑系の鍼術流派の分派活動について 長野 仁 210
- 31 経絡治療の普及活動について 周防 一平, 小田口 浩, 花輪 壽彦 211
- 32 『医方類聚』引用の『活人心』について 劉 青 212
- 33 「台湾醫學史學會」の学会活動
 ——2018年台湾醫學史學會暨學術檢討會から得た知見—— 福永 肇 213
- 34 整骨新書(1810)における解剖学 木村 明彦, 木村 直明 214
- 35 整形外科医の先達・各務文献~二百回忌法要を終えて 今井 秀 215
- 36 医の博物館所蔵の解剖絵巻「解観大意」について 佐藤 利英, 樋口 輝雄 216
- 37 『平常流機道問答』について 池内早紀子 217
- 38 『養生問對 上』について 趙 青, 瀧澤 利行 218
- 39 『医学授幼鈔』について 木場由衣登 219
- 40 『瀧澤路女日記』(1849)にみる母親による看病の実態 平尾真智子 220
- 41 京都書林仲間の医書重板・類板係争 海原 亮 221
- 42 長州宇部福原家(萩藩永代家老)家来医・林家旧蔵の蘭方医学書について
 中澤 淳, 亀田 一邦 222
- 43 佐久間洋行旧蔵書について 清水 信子, 町 泉寿郎 223
- 44 手術のランダム化比較試験の歴史
 ——1940年代に中山恒明らが開発した頸動脈球別出手術—— 津谷喜一郎 224
- 45 新発見の日本医師会内部文書による占領期の医薬分業論争に関する考察
 杉田 聡, 田中 誠二, 丸井 英二 225
- 46 戦後占領期における「公衆衛生列車展覧会」に関する考察
 ——県軍政部レポートの内容—— 田中 誠二, 杉田 聡, 丸井 英二 226
- 47 筑前国須恵の眼科医 9代田原養伯貞一 上園 慶子 227
- 48 日本における緑内障薬物治療の経過について 園田 真也 228
- 49 網膜芽細胞腫：診断と治療の歴史I 柳澤 隆昭 229

- 50 1928年6月8日東京学士会館開催のスイス・バーゼル大学耳鼻科
ジーベンマン教授追悼会 …………… 高橋 薫, 高橋日出雄 230
- 51 わが国におけるパラリンピック競技の父——中村 裕博士 …………… 小林 晶 231
- 52 ストーク・マンドヴィル病院：パラリンピック揺籃の地 …………… 柳澤 波香 232
- 53 日本人移民一世がハワイで経験した健康に関わる問題 …………… 山崎 由花 233
- 54 日清戦争における雇員医師について …………… 鈴木 紀子 234
- 55 1890-91年帝国日本の「ツベルクリン」臨床実験
——「検証報告」を検証する—— …………… 月澤美代子 235
- 56 日本統治下台北における二つの精神病院の成立と展開：
私立養浩堂医院と官立養神院 …………… 橋本 明 236
- 57 易经, ユングと共時律 …………… 権藤 寿昭 237
- 58 福井コレクションに遺された幻の病院船「大和丸」の痕跡 …………… 柳川 鍊平 238
- 59 ゲーテと医療（第4報）
——とくに彼の作品に描かれた医学的諸問題—— …………… 鈴木 重統 239
- 60 明治政府お雇いドイツ人医師ユリウス カール スクリバ
——外科医と学外活動の記録—— …………… 高橋日出雄, 高橋 薫 240
- 61 近代腹部外科の推進者 Theodor Billroth 関連史蹟について …………… 佐藤 裕 241
- 62 ペラグラ—— Josef Goldberger の生涯と業績—— …………… 伊藤 泰広 242
- 63 ベルツ博士の温泉医学への情熱 …………… 松田 博子 243
- 64 渋沢栄一の社会事業（医療・福祉関係）への関わりの時代的変遷について
…………… 稲松 孝思 244
- 65 栗田静枝の足跡
——我が国の診療情報管理の開拓者—— …………… 村井はるか, 高橋 正樹 245
- 66 近代わが国の平均寿命延長の年齢構造と医療・公衆衛生の役割：
第4回～22回生命表より …………… 逢見 憲一 246
- 67 わが国の「老衰死」の過去・現在・未来
…………… 丸井 英二, 杉田 聡, 田中 誠二 247
- 68 イブン・スィーナ（アヴィセンナ）『医学典範』の東西における
注釈伝統 …………… 矢口 直英 248
- 69 モンゴル時代の漢語イスラム医学書『回回薬方』と
中世イスラム医学書との関連についての一考察
——第30巻雑證門を中心に—— …………… 尾崎貴久子 249
- 70 平安京施薬院関連遺跡出土医薬木簡再考 …………… 多田 伊織 250
- 71 道元禅師の死 …………… 葉山美知子 251
- 72 日本医薬文化史 第1報 古代日本の医薬神について…………… 辰野 美紀 252
- 73 『医心方』巻二における治療禁忌と実際 …………… 島山奈緒子 253
- 74 平安貴族社会にみる病気治療の諸相 …………… 坂本 陽子 254
- 75 古代における疾病観, 医療観について …………… 黒野 伸子, 大友 達也 255

- 76 向井元升『庖厨備用倭名本草』の底本・李東垣『食物本草』について
 岩間眞知子 256
- 77 江戸考証学者による『本草和名』の研究 武 倩 257
- 78 杏雨書屋所蔵の黒川文庫「本草」について
 ——早川佐七の楂考書屋との関係—— 吉川 澄美 258
- 79 西忍『藪明集』における田代三喜と曲直瀬道三の能毒書の影響について
 鈴木 達彦, 平崎 能郎, 並木 隆雄 259
- 80 名古屋における医薬系博物館の萌芽
 ——大須地区で開催された博覧会と博物館—— 野尻佳与子 260

誌上発表

- 81 群馬県医学校の生徒について 須長 泰一 261
- 82 西鶴作品にみる身体に関する語(七) 計良 吉則 262
- 83 国立公文書館内閣文庫所蔵明刻本『必用医学須知』『明医指掌』について
 宮川 隆弘 263
- 84 新出の古矢知白の著書『傷寒論正文復聖解 附. 異名十有五湯辨』
 町 泉寿郎, 清水 信子 264
- 85 福井崇蘭館旧蔵の古活字版医書 小曾戸 洋 265
- 86 『老師雑話記』の脈法 中川 俊之 266
- 87 森鼻宗次と彌性園の医師 田中 祐尾 267